

兵庫県立舞子高等学校 平成 29 年度学校評価外部報告書

| 評価項目 (Plan・Do) | 学校自己評価 (Check1) | 学校関係者評価 (Check2) | | | | | | | | | | | | |
|---|--|-----------------------|---------|-----------------------|---------------|----------------|-----------------------|-------------------|----------------|-----------------------|----------------|---------|-----------------------|--|
| <p>【校訓】 誠実 健全 親愛 勤勉 自他ともに誠実である 心身ともに健全である 互いを親愛で結ぶ 常に勤勉である</p> <p>【教育目標】 「誠実 健全 親愛 勤勉」の校訓のもと、人格の陶冶をはかり、知・徳・体の調和のとれた、みずみずしい感性を備えたこころ豊かな人間を育成する。</p> <p>【めざす生徒像・学校像】 (中期目標から) ・めざす生徒像 「自ら考え、行動する自立できる人間」 ・めざす学校像 「地域に根ざした、信頼される学校」</p> <p>【5つの柱】 (中期目標から) 1 特色あるカリキュラムの充実 2 自己実現を目指した進路指導の充実 3 学力向上を目指した学習指導の充実 4 内面的理解に基づく生徒指導の充実 5 教職員の資質向上</p> | <p>実践目標 「改革の5つの柱」に基づく16項目を設定。29年度より、いじめ対策の項目を追加した。</p> <p>アンケート実施 (平成 29 年 12 月、教職員・生徒・保護者にアンケートを実施) ・無記名方式 ・数値選択方式 (4 そう思う、3 ややそう思う、2 あまりそう思わない、1 そう思わない、0 わからない) ※ 「0」でないデータを評価のデータとして扱う ・教職員、生徒、保護者それぞれの平均値を算出後 100 点に換算 (平均値×25) し、評価点とする ・三者の評価点の平均 ((教職員評価+生徒評価+保護者評価)÷3) を算出し、三方向評価点とする</p> <p>評価基準</p> <table border="1"> <tr> <td>評価A (達成できた)</td> <td>…80 点以上</td> <td>(90 点以上はA+、90 点未満はA-)</td> </tr> <tr> <td>評価B (ほぼ達成できた)</td> <td>…60 点以上 80 点未満</td> <td>(70 点以上はB+、70 点未満はB-)</td> </tr> <tr> <td>評価C (あまり達成できなかった)</td> <td>…40 点以上 60 点未満</td> <td>(50 点以上はC+、50 点未満はC-)</td> </tr> <tr> <td>評価D (達成できなかった)</td> <td>…40 点未満</td> <td>(30 点以上はD+、30 点未満はD-)</td> </tr> </table> <p>アンケート回収 <12 月> 教職員 (集計数 39 名) 対象・・・校長、教頭、教諭、養護教諭 生徒 (集計数 822 名) 内訳・・・1 年 273 名、2 年 277 名、3 年 272 名 保護者 (集計数 748 名) 内訳・・・1 年 252 名、2 年 264 名、3 年 232 名</p> | 評価A (達成できた) | …80 点以上 | (90 点以上はA+、90 点未満はA-) | 評価B (ほぼ達成できた) | …60 点以上 80 点未満 | (70 点以上はB+、70 点未満はB-) | 評価C (あまり達成できなかった) | …40 点以上 60 点未満 | (50 点以上はC+、50 点未満はC-) | 評価D (達成できなかった) | …40 点未満 | (30 点以上はD+、30 点未満はD-) | <p>【総合的な学校評価】 総合評価 B⁺ (75)</p> <p>中期目標の5本の柱についての達成状況は、「1 特色あるカリキュラムの充実」「2 自己実現を目指した進路指導の充実」「4 内面的理解に基づく生徒指導の充実」は B⁺ で、教職員の頑張りが見て取れる結果である。ただ、「3 学力向上を目指した学習指導の充実」「5 教職員の資質向上」は B⁻ で、厳しい自己評価である。</p> <p>ただ、会合でも意見が出たように、普通科の比重が高い本校において、上級学校への進学は至上命題である。</p> <p>保護者や地域の高い期待に応えるべく、環境防災科の際立った取り組みと成果をトリガーにして、①学外での生徒の活動や成果を学習への意欲につなげる「サービスラーニング」や、②普通科の体系的な学力向上方策 (家庭学習や授業力向上等) が期待される。以上の点から、今年度の自己評価は妥当だと思われる。</p> |
| 評価A (達成できた) | …80 点以上 | (90 点以上はA+、90 点未満はA-) | | | | | | | | | | | | |
| 評価B (ほぼ達成できた) | …60 点以上 80 点未満 | (70 点以上はB+、70 点未満はB-) | | | | | | | | | | | | |
| 評価C (あまり達成できなかった) | …40 点以上 60 点未満 | (50 点以上はC+、50 点未満はC-) | | | | | | | | | | | | |
| 評価D (達成できなかった) | …40 点未満 | (30 点以上はD+、30 点未満はD-) | | | | | | | | | | | | |

| 重点目標 | 実践目標 | アンケート質問文 | | | 評価点 | | | | 達成状況 | | 次年度に向けた改善の方策 | 自己評価は適切であるか 改善の方策は適切であるか 来年度に向けての意見・提案等 |
|-----------|---|---|--|--|-----|----|-----|-----|----------------|----------------------|--|--|
| | | 教職員 | 生徒 | 保護者 | 教職員 | 生徒 | 保護者 | 三方向 | 実践目標 | 重点目標 | | |
| 学校の特色化の推進 | 1 地域に開かれた学校をめざして、学が丘コンサートや震災メモリアル行事など地域や保護者と連携した教育活動を行う | 学が丘コンサートや震災メモリアル行事など地域や保護者と連携した教育活動を行っている | 学が丘コンサートや震災メモリアル行事など地域と密着した教育活動が積極的に行われている | 学が丘コンサートや震災メモリアル行事など地域と密着した教育活動が積極的に行われている | 92 | 76 | 82 | 83 | A ⁻ | B ⁺ 76 | <p>【総務部・情報委員会】 学が丘コンサートを本校生にもっと見学できるようにし、小さい子供が一生懸命歌う姿から学校行事へ主体的に取り組むことの意味を再確認させる。 ホームページの閲覧数の増加が入学希望者の増加につながるように、各部・学年や各部活動の活動報告を充実させ、魅力ある学校を発信する。</p> <p>【教務部・教育課程委員会】 科目の配置について、概ね適切な編成という評価であった。今後も、生徒の進路実現に向けた適切な科目配置を検討していく。</p> <p>【生徒指導部】 舞子祭などの行事について、早目に準備をする。 舞子 SPT 会議をさらに地域へ広め、舞子 SPTC 会議で実施する。</p> <p>【環境防災科・先進理工類型】 震災メモリアル行事を地域の行事として継続させていく。また、特色のある教育実践を継続し、環境防災科を中心としたボランティア等の実践活動や、または先進理工類型のアドバンススタディのカリキュラムを活かした活動で、地域や小中学校に研究成果を還元していく。</p> | <p>【自己評価】 …… 適切である</p> <p>【改善の方策】 …… 適切である</p> <p>【来年度に向けての意見・提案等】 「舞子高校はいい学校ですよ」と言うことはできても、魅力をきちんと説明できない。 多くの生徒が国公立を目指すような、進路実績ある学校にしてほしい。 カリキュラムはセンター試験に対応できるものにしてほしい。</p> |
| | 2 生徒の実態にあった教育課程を編成し、個性の伸長と進路希望の実現を図る | 新教育課程の趣旨を踏まえ、生徒の実態や進路希望に合った教育課程を編成している | 科目の配置や選択科目の設定に満足している | 科目の配置や選択科目の設定に満足している | 75 | 68 | 74 | 72 | B ⁺ | | | |
| | 3 学校行事に生徒を主体的に参加させ、成就感を体感させる | 様々な学校行事に生徒を主体的に参加させ、成就感を体感させる | 学校行事に自主的、積極的に参加し、やりがいを感じている | お子様は学校行事に積極的に参加している | 81 | 69 | 82 | 78 | B ⁺ | | | |
| | 4 学校ホームページ、メルマガ、各種パンフレットをわかりやすいものにし、情報発信を充実させる | 学校ホームページ、メルマガ、各種パンフレットはわかりやすく、保護者・中学生・地域への情報発信が充実している | ホームページや学校の情報が載った各種印刷物は読みやすく、学校のことがよくわかる | ホームページや学校の情報が載った各種印刷物は読みやすく、学校のことがよくわかる | 80 | 63 | 71 | 71 | B ⁺ | | | |

| 重点目標 | 実践目標 | アンケート質問文 | | | | | | | | 達成状況 | 次年度に向けた改善の方策 | 自己評価は適切であるか 改善の方策は適切であるか 来年度に向けての意見・提案等 | |
|-----------------|------|--|---|---|---|----|-----|-----|------|----------------|----------------------|---|---|
| | | 教職員 | 生徒 | 保護者 | 評価点 | | | | 実践目標 | | | | 重点目標 |
| | | | | | 教職員 | 生徒 | 保護者 | 三方向 | | | | | |
| 内面理解に基づく生徒指導の充実 | 12 | 携帯電話・スマートフォンの使用マナーの向上を図る | 携帯電話・スマートフォンの使用マナーの指導は十分にできている | 携帯電話・スマートフォンの使用マナーを守ろうと思う | お子様は携帯電話・スマートフォンの使用マナーを守っている | 76 | 87 | 76 | 80 | B ⁺ | B ⁺ 80 | 【生徒指導部】 歩きスマホを根絶するにはどうすればよいか、生徒会を中心に考える。学校外におけるルールを従来より1歩踏み込んだものにできるかは、生徒会の判断に負うところが大きい。サイバー犯罪防止のための生徒・職員対象に実施し、情報モラルの向上を図っている。違反者に対しては、従来通り、全先生方の注意・指導をベースにし、学年と生徒指導部の連携で徹底していく。大別して、電車利用時マナー、バス乗車マナー、徒歩通学時のマナー、自転車通学時のマナーについて、後手に回らないように、繰り返し指導していく。 【情報科】 教科情報や総合的な学習の時間の中で、情報モラル、スマホのマナーなどの向上を図る。 【教育相談委員会】 引き続きキャンパスカウンセリングと生徒理解をテーマとした職員研修を充実させるとともに、保健室（養護教諭）とカウンセラーから情報の発信と共有を密にしていく。 インクルーシブ教育システムの充実のため、個別の支援教育活動等を個々に対応できるように次年度も継続していく。 | 【自己評価】 …… 適切である 【改善の方策】 …… 適切である 【来年度に向けての意見・提案等】 5S（整理・整頓・清掃・清潔・躰）を基本にこれからもよい生徒を育ててほしい。 |
| | 13 | 日頃から生徒の状況把握に努め、声かけや会話を通して日常的な教育相談活動（カウンセリングマインド）を充実させる | 日頃から生徒の状況把握に努め、声かけや会話を通して日常的な教育相談活動（カウンセリングマインド）が充実している | 学校生活における悩みを相談できる教職員がいる | 保護者として学校に悩みを相談しやすい雰囲気がある | 73 | 62 | 65 | 67 | B ⁻ | | | |
| | 14 | 制服着用のルールを守り、頭髪等においても清楚な身だしなみを心がける | 制服着用のルールや頭髪等のルールの指導は十分にできている | 制服着用のルールを守り、清楚な身だしなみを心がけている | お子様は制服着用のルールを守り、頭髪等においても清楚な身だしなみをしている | 86 | 88 | 90 | 88 | A ⁻ | | | |
| | 15 | 通学時のマナーの向上を図る | 通学時のマナーの指導は十分にできている | 通学時において、徒歩・自転車・バスなどのマナーに気を付けている | お子様はバス通学や自転車通学等において、マナーを守っている | 76 | 89 | 90 | 85 | A ⁻ | | | |
| 教職員の資質・能力の向上 | 16 | 公開授業・研究授業を通し、感想や助言を相互に行うことにより、授業改善を図る | 公開授業・研究授業を通し、感想や助言を相互に行うことにより、授業改善ができていく | 公開授業・研究授業が実施されており、分かる授業、意欲を高める授業とされるよう授業改善が図られていると感じる | 公開授業・研究授業が実施されており、分かる授業、意欲を高める授業とされるよう授業改善が図られていると感じる | 71 | 61 | 72 | | | B ⁻ 68 | 【管理職】 「政治的教養」の研修や、初任者を対象にした研修、学力向上の研修など、研修の機会を多くつくり、自主的な研修や研修会を促した。アクティブラーニングなどの授業研究の方法を提示し、指導案をデータベース化した。 年間3回の公開授業週間を継続し、授業参観しやすいように広報にも力を入れていく。 中学校と連携した授業見学の機会も維持し、本校からも多聞東中学校への授業参観をして、授業研究を深める。 校内での積極的な授業研究会を各教科で実施し、ポートフォリオやアクティブラーニングの授業展開を研究して授業力の向上を図る。 | 【自己評価】 …… 適切である 【改善の方策】 …… 適切である |
| いじめ対策 | 17 | いじめ防止基本対策を実行する | いじめ防止のための取組が十分にできた | いじめ防止のための取組が十分だと感じる | いじめ防止のための取組が十分だと感じる | 83 | 71 | 73 | | | B ⁺ 75 | 【管理職】 年間3回の「いじめアンケート」を継続し、面談等の機会を積極的に設けることで、いじめの根絶を図る。 【職員】 いじめ対応チームも定期的に情報共有を行い、いじめをゆるさない組織づくりを行う。また、いじめ根絶への意識を向上させるために、いじめの定義の周知徹底や未然防止など、また、研修会の機会をつくり、生徒にいじめの問題を考えさせていく。 | 【自己評価】 …… 適切である 【改善の方策】 …… 適切である |